

令和3年度事業報告

内閣府によると、我が国経済は長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下にあっても、昨年9月末の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除以降は、厳しい状況は徐々に緩和されており、持ち直しの動きがみられ、また、GDPも令和3年度は感染拡大前の水準が見込まれています。こうした中、令和3年度、市工連では感染防止対策をとりながら、各事業を実施してまいりました。

販路拡大支援のために、昨年度から実施しているオンラインの商談会と、リアルとオンラインを組み合わせた商談会を2回実施しました。工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2022」は、2年ぶりのリアル展示と、オンライン展示のハイブリッドで開催しました。

人材確保・育成支援では、高校生の採用支援のための就職懇談会を実施するとともに、横浜市就職サポートセンターのインターンシップ事業へ協力してきました。

また、昨年度は中止となった第34回「新入社員合同研修」は、帆船日本丸で、感染防止のために宿泊は取りやめましたが2日間実施するとともに、新入社員フォローアップ研修を実施し、人材育成に取り組みました。また製造業への理解を深めてもらうための出前講座と工場見学は、会員企業様のご協力で、実施することができました。

会員企業の交流の場としては、賀詞交歓会を規模を縮小して実施しました。

施設管理については、産貿ホールが2年にわたるコロナ禍の断続的な行動制限により、稼働率が落ち込み、市工連の経営状況を圧迫させましたが、横浜市からの支援金の交付を受け、当面の危機を乗り切りました。

I ものづくり活性化事業

1 販路拡大事業

(1) 商談会の開催

ア オール神奈川受・発注商談会2021（オンライン）

日 時 令和3年10月18日（月）～10月22日（金）

主 催 （公財）神奈川産業振興センター、

後 援 神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、相模原市、（一社）横浜市工業会
連合会 他

参加社数 443社（前年度：119社）

発注：90社うち横浜市内企業25社（前年度：24社／5社）

受注：353社うち横浜市内企業105社（前年度：95社／22社）

商談件数 525件（前年度：136件）

内 容 オール神奈川として、昨年に引き続きオンライン会議ツール等の活用による非対面で開催。また、効果的な商談実施のために、セミナー「これだけは知っておきたい、オンライン商談会のツボ」を配信しました。

セミナー開催日時：令和3年10月8日（金）～10月22日（金）

セミナー視聴者：65名

イ 受・発注商談会 in テクニカルショウヨコハマ2022（リアルとオンライン）

日 時 令和4年2月2日（水）10：00～16：00（リアル）

令和4年2月2日（水）～2月25日（金）（オンライン）

主 催 神奈川県、（公財）神奈川産業振興センター、横浜市、（一社）横浜市工業会連合会、川崎市、（公財）川崎市産業振興財団、横浜信用金庫

参加者数 230 社 (昨年 : 301 社※オンライン商談)
発注 : 54 社うち横浜市内企業 14 社 (前年度 : 62 社 / 20 社)
受注 : 137 社うち横浜市内企業 29 社 (前年度 : 216 社 / 50 社)
商談件数 270 件 (前年度 : 612 件)
内 容 会場となるパシフィコ横浜の「新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」を遵守するとともに、商談に際しては、三密を避けるため、午前と午後の入替制とするなどの対策を講じて実施しました。
また、商談会に参加する受注企業の商談方法を支援することを目的に、「営業力強化セミナー (これだけは知っておきたい商談会のツボ)」を開催。事前に録画し、YouTube で自由に視聴できる方式で配信しました。
開催期間 : 1 月 18 日 (火) ~ 2 月 2 日 (水) 商談会終了時まで
セミナー視聴回数 : 106 回

(2) 「テクニカルショウヨコハマ 2022」(第 43 回工業技術見本市)

ア 開催概要

- (ア) 開催期間 リアル展示 : 令和 4 年 2 月 2 日 (水) ~ 2 月 4 日 (金)
オンライン展示 : 令和 4 年 2 月 2 日 (水) ~ 2 月 10 日 (木)
- (イ) 会場 リアル展示 : パシフィコ横浜展示ホール A・B・C
オンライン展示 : テクニカルショウヨコハマ 2022 公式ホームページ
- (ウ) 出展規模 662 社・団体 (リアル 554 社、オンライン 108 社) (前年度 : 592 社)
- (エ) 入場者数 8,407 名
閲覧者数 27,803 名

イ 横浜ものづくりゾーンの開設

横浜市や各区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や、その施策を活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ 2021 公式ホームページ上に「横浜ものづくりゾーン」のコーナーを設け、団体として出展しました。

出展企業 47 社・団体 (前年度 : 50 社・団体(オンライン))

(個別応募企業 : 11 社、メイドインつづき : 20 社、横浜市販路開拓支援事業認定企業 : 2 社、脱炭素取組企業 : 3 社、横浜青年経営者会 : 8 社、行政関連 : 3 団体)

(3) 受発注相談 (電話・FAX・Eメール等による受発注相談)

(4) 横浜ネットワークプラス (受発注情報システム) の運営

横浜ネットワークプラス (受注・発注マッチングサイト) で、受けた案件を横浜ネットワークプラスに登録・公開するとともに、受注情報や企業検索ができるシステムを運営しています。

2 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修

企業の新入社員を対象に、講義やグループワーク、「帆船日本丸」における実践訓練を通し、新入社員のチャレンジ精神や協調性を養い、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、帆船日本丸への宿泊は行いませんでした。

ア 開催日 令和 3 年 4 月 15 日 (木)・16 日 (金) (8 : 30~17 : 00)

イ 会場 帆船日本丸及び同訓練センター

ウ 参加者 8 社 34 名 (男性 29 名、女性 5 名) (前年度は中止)

エ 内容 ① 船上訓練 (甲板磨き、マスト登り、結索)

指導者：日本丸船長、航海士、乗組員

- ② 講義、グループワーク
ビジネスマナー研修を通し社会人としての意識を持つ
講 師：株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- ③ 講義「帆船を用いた研修の意義」
帆船日本丸船長 村田 信氏

(2) 新入社員フォローアップ研修

入社後を振り返り、自分の強みや課題を客観的に認識し前向きなマインドを構築するとともに、他社の同年代の人たちと交流することを目的に、新入社員フォローアップ研修を実施しました。

- ア 日 時 令和4年2月22日(火) 9:00~17:00
- イ 会 場 産貿ホール小展示室
- ウ 参加者 6社 7名(男性6名、女性1名)
- エ 講 師 株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- オ 内 容 ①入社後の自身の振り返り(自分の仕事の進め方の再認識)
②入社後の職場の振り返り(仕事の問題点の克服と共有)
③クレーム対応の実践(ビジネスマナーに基づく話し方の再認識)
④ハイポイントインタビュー(自身の強み、課題を客観的に認識)
⑤「信念の言葉化」「自分なりの良い仕事」の意味づけを明確化

(3) 就職に関する懇談会の開催

神奈川県内の高校生等の地元中小企業への就職を促進するため、県立高校等関係者と企業との就職に関する懇談会を横浜市、ハローワークと共催して開催しました。

- ア 日 時 令和3年6月15日(火) 14:00~17:00
- イ 会 場 横浜産貿ホール1F マリネリア
- ウ 参加者 神奈川県立磯子工業高校 等 17校 23名(前年度:14校 21名)
会員企業等 49社 49名(54社申込み)(前年度:38社 38名)
- エ 成果についてのアンケート
実施日 令和4年1月
49社に FAX 送付
結 果 回答 31社、事後接触あり 33件、うち採用内定予定あり 28件
(前年度:事後接触あり 26件、うち採用予定あり 13件)

(4) ものづくりの魅力を伝える事業

ア 出前講座の開催

神奈川県内の大学生・高校生及び職業技術校の訓練生に対し、ものづくり産業・中小製造業の果たす役割や、中小企業が求める人材などをテーマに講座を開催しました。

[第1回]

- (ア) 実施校：関東学院大学
- (イ) 開催日：令和3年5月26日(水) 17:00~18:40
- (ウ) 参加者：約60名
- (エ) 会 場：関東学院大学金沢八景キャンパス フォーサイト F-301 教室
- (オ) 講 師：(一社)横浜市工業会連合会 会長 榎本 英雄氏

[第2回]

- (ア) 実施校：関東学院大学
- (イ) 開催日：令和3年6月3日(木) 8:50~10:30
- (ウ) 参加者：約80名

- (エ) 会 場：関東学院大学金沢八景キャンパス 3号館 202教室
(オ) 講 師：(一社)横浜市工業会連合会 会長 榎本 英雄氏

イ 工場見学の開催

市工連でバスを提供し、出前講座と一体で開催しました。

[第1回]

- (ア) 開 催 日：令和3年11月4日(木) 14:00~16:00
(イ) 見 学 先：日本貿易印刷株式会社 戸塚区上矢部町1968
代表取締役社長 伊藤 知之氏による会社概要説明
同社社員で神奈川県立翠嵐高等学校(定時制)卒業生による講話
(ウ) 事 業 内 容：ガソリンスタンドの効率化と集客を支援する、伝票やのぼり旗などの印刷を行う石油業界事業及び各種カード(銀行キャッシュカードや健康保険証など)の発行などの情報処理事業について説明
(エ) 実 施 校：神奈川県立翠嵐高等学校(定時制) 横浜市神奈川区三ツ沢南町1-1
(オ) 参 加 者：36名
1年生22名、教諭7名、通訳1名(ネパール語)、
横浜市3名、市工連3名

[第2回]

- (ア) 開 催 日：令和3年11月17日(水) 9:00~11:50
(イ) 出前講座：<講 師>田村工業株式会社 代表取締役社長 田村 大輔氏
<テーマ>日本の産業を陰で支える金属熱処理加工のご案内
<会 場>神奈川県立東部総合職業技術校
(ウ) 見 学 先：田村工業株式会社 横浜市鶴見区元宮2-3-20
株式会社甲斐田製作所 〃
(エ) 事業内容：金属熱処理(曲り矯正、ショットブラスト等)、各種設備の設計・製作・施工、メンテナンス(溶接等)
(オ) 実 施 校：神奈川県立東部総合職業技術校 横浜市鶴見区寛政町28-2
(カ) 参 加 者：45名
チャレンジプロダクトコース生6名、溶接・板金コース生6名、
セレクトプロダクトコース生19名、引率7名、
横浜市4名、市工連3名

ウ ものづくり企業紹介フェアの開催

ものづくり企業紹介フェアは、テクニカルショウヨコハマの2日目に、ものづくりや製造業に対する理解を深めるため、神奈川県内の高校生を対象に、中小企業経営者の講演会及びテクニカルショウヨコハマ見学会を実施しています。今回は、コロナウイルス感染拡大の影響を懸念してか、期限までに1校も申込みがなかったので中止しました。

(5) 技術者育成支援事業

中小製造業者がその従業員に、技術水準の向上、技能・技術の承継を推進し、中小製造業者における人材確保及び人材育成に資することを目的として、業務上必要な技能検定資格取得のための受検料を、補助金として交付しました。令和3年度からは、受検対策で受講した講習会等も補助の対象とし、申請件数も増加しました。

補助金交付企業 5社

(6) 横浜市就職サポートセンター事業への協力

横浜市経済局雇用労働課が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」に協力し、インターンシップ受入れを会員企業に呼びかけ、若年層等の雇用に結びつけました。

- ア 求人企業数 101 社うち市工連会員企業 28 社
イ 採用決定人数 124 名うち市工連会員企業 5 社 7 名
(前年度採用実績：2 名)

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

産貿ホール大ホールの正面扉が老朽化で傾いたため、市工連の負担で補修工事を行いました。

新型コロナウイルス関係では、前年に比べれば回復傾向にありましたが、まだ 100%の回復とは言えず苦しい運営状況でした。そのため、産貿ホールの収支不足に対する横浜市からの支援金（国費及び市費）を交付していただき、乗り切ることができました。

2 試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トライアルステージ）事業

引き続き市工連の財政状況が厳しいことから、横浜市からの借入金の返済を 2 回分猶予していただきました。

III 市工連及び地域工業会等の活性化

1 委員会の活動（総務、政策、事業・企画、広報・産学、雇用・環境の 5 委員会）

地域工業会代表が意見交換をおこない、課題解決に反映されるよう各委員会を開催しました。

5 委員会の開催延べ回数：7 回

2 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）

(1) 横浜市と当連合会との施策検討会の運営

横浜市の中小企業振興策の立案・実施に向け、具体的かつ実効性の高い施策を検討・協議する施策検討会を開催しました。

(2) 産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、施策検討会を活用し、地域工業会・事業会からの振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、「令和 4 年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」としてまとめ、横浜市長に提出しました。

ア 提出日 令和 3 年 10 月 26 日（水）

イ 場所 横浜市庁舎

ウ 出席者 横浜市長、副市長、経済局長、市工連会長、各地域工業会会長ほか

エ 要望書概要

(ア) 重点要望事項 4 項目 14 件

(イ) 一般要望事項 5 項目 37 件

(ウ) 項目 ①操業環境の改善

②販路拡大

③人材確保、育成

④ものづくりの活性化に対する支援

⑤その他

3 地域工業会・事業会の活動支援

11 の地域工業会・事業会に対し、広報活動助成と活動支援助成（特例分）として、8 万円の助成を行いました。

4 横浜青年経営者会の活動支援

横浜青年経営者会への助成金として 10 万円を交付しました。

5 情報発信事業

(1) インターネットを活用した情報提供

ア ホームページの運営

- ・ホームページの一部を改修し、閲覧者の利便性が向上
- ・「横浜市からのお知らせ」及び「出前講座・工場見学等」のサイトを新設

イ メールマガジン「市工連ニュース」の配信

23 回配信（令和 3 年 4 月 1 日第 468 号～令和 4 年 3 月 15 日第 490 号）

配信先 工業会会員等約 1,900 件

(2) 機関誌等の発行

ア 機関誌「よこはま市工連」の発行

年間 2 回発行

令和 3 年 7 月（第 84 号）2,000 部 / 令和 4 年 1 月（第 85 号）2,200 部

イ 情報紙「市工連かわらばん」の発行

年間 6 回発行 各回 2,000 部配布

令和 3 年 5 月（第 188 号）から令和 4 年 3 月（第 193 号）まで奇数月発行

(3) 一斉ファックス及びメールマガジンでの情報発信

全会員へのお知らせや周知のために、一斉 FAX やメールマガジンのツールを利用し、情報の発信に努めました。

6 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を表彰しました。

被表彰者 3 社 4 件 5 名（8 ページ「別表」のとおり）

7 会員企業の交流

新型コロナウイルス感染拡大で、まん延防止等重点措置などが取られたため、施設見学会や委員会終了後の懇親会は実施しませんでした。

8 会員サービス事業

「災害共済」等、会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行うとともに、本会独自の PL 保険の加入促進を図りました。また、会員サービスの向上につながる団体割引等の取りまとめをしました。

IV 法人運営

総会、理事会、委員会等の開催など、団体運営に努めました。

1 総会、理事会、委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4 月 21 日 (水)	第 1 回 広報・産学 委員会	・「よこはま市工連（第 84 号）」について ・広報関係の実績について	横浜産貿 ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月22日 (木)	第1回 政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度横浜市に対する予算要望の回答について ・令和4年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の策定について 	横浜産貿 ホール 小展示室
6月7日 (月)	第1回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度第1回理事会・定時総会の議案について ・令和3年度第2回理事会の議案について 	横浜産貿 ホール 小展示室
6月22日 (火)	第1回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告 ・令和2年度決算報告 ・理事及び監事の選任 	ホテルメル パルク横浜
6月22日 (火)	定時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告 ・令和2年度決算報告 ・理事及び監事の選任 	ホテルメル パルク横浜
6月22日 (火)	第2回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長及び専務理事の選定 ・令和3年度市工連委員会の委員 	ホテルメル パルク横浜
7月21日 ～ 8月26日	施策検討会	地域工業会委員15人、政策委員4人、 横浜市課長職以下5人、IDEC2人	横浜産貿 ホール 小展示室 書面開催
9月22日 (水)	第2回 政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度施策検討会の報告について ・令和4年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書について ・その他 	横浜産貿 ホール 小展示室
10月8日 (金)	第2回 広報・産学 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「よこはま市工連(第85号)」について ・広報関係の実績について 	産貿ホール 小展示室
11月8日 (月)	事業・企画 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業について ・令和4年度市工連事業概要について 	産貿ホール 小展示室
11月25日 (木)	第2回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画(案)について ・令和4年度予算(案)について ・公益目的支出計画の変更認可申請について ・令和4年市工連賀詞交歓会開催について 	横浜産貿 ホール 小展示室
12月14日 (火)	第3回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画(案)について ・令和4年度予算(案)について ・公益目的支出計画の変更認可申請について ・その他 	ホテル メルパルク
12月14日 (火)	定時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画(案)について ・令和4年度予算(案)について ・公益目的支出計画の変更認可申請について ・その他 	ホテル メルパルク

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
3月25日 (金)	第4回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜産貿ホールの収支不足に対する横浜市からの支援金について ・公益目的支出計画の変更認可について ・事務局長の任命について ・その他 	ワークピア 横浜

2 新年賀詞交歓会

新型コロナウイルス感染症予防の対策を取り、規模と時間を縮小して、来賓及び市工連役員・委員会委員の皆様の出席のもと、市工連新年賀詞交歓会を開催しました。

日 時 令和4年1月6日(木) 16:00~17:30

会 場 ホテルメルパルク横浜

参加者数 79名

3 地域工業会・事業会 事務局長会議

4月20日、7月20日、10月19日、12月21日、3月15日の5回は会議を開催しました。また、5月18日、6月15日、9月21日、11月16日、2月15日の5回は書面での開催となりましたが、メール等で情報伝達等を行い、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。